

全日本大学対抗「来年は圧勝」

八学大自転車部 女子団体準優勝、個人V

成績 市長に報告

八戸

千葉市で8月末に開かれた全日本大学対抗自転車選手権に出場し、団体種目の女子チームスプリントで準優勝、個人種目の女子スプリントで優勝に輝いた八戸市の八戸学院大学自転車競技部のメンバーが15日、市庁を訪ね熊谷雄一市長に成績を報告した。

市庁を訪ねたのは、同部の三浦康高監督と、団体で出場した主将の3年・嵯峨希来選手（秋田県出身）、2年・室谷椋音選手（青森市出身）、1年・江戸優選手（島根県出身）の計4人。嵯峨選手は個人種目での優勝も果たした。

嵯峨選手は個人について「他の選手

が先行する苦手な展開だったが、落ちて追いついた」と振り返り、「今回の結果を生かし、今後の試合は自信を持って走りたい」と語った。団体で3走を務めた江戸選手は「初めてのインカレで緊張したが、本番にピークを合わせられて良かった」と振り返った。室谷選手は「来年の団体は2位に圧倒的な差をつけて勝ちたい。成績を残せなかった個人でも優勝したい」と意気込んだ。

熊谷市長は「自転車王国・八戸の復活が楽しみ。国スポ（国民スポーツ大会）も盛り上げてほしい」と、活躍に期待感をにじませた。国スポの自転車（トラックレース）競技は10月7～10日、同市の八戸自転車競技場で実施され、室谷選手が県勢として出場する。

（菅原雅人）



熊谷市長④に成績を報告した八戸学院大学自転車競技部のメンバーたち。左から順に室谷選手、江戸選手、嵯峨選手、三浦監督